

# 消防団員としての使命を再認識

新春恒例の桜川市消防団出初式が1月6日(日)、大和ふれあいセンター「シトラス」で、市消防団・消防署など関係者約550人とポンプ車など36台が集結し盛大に行われました。

式典では、中田市長の式辞の後、永年勤続功労章などの表彰が行われ、市の防災に献身的な活躍をしてきた消防団員を称えました。

式典の中で、皆川光吉消防団長は、「我々、桜川市消防団は、日頃から防火・防災の思想の普及を図ると共に団員一人ひとりが日々訓練を重ね、万が一の火災や災害に際しては団員が一致団結して任務を全うする覚悟です」と、今年一年間の防災への決意を新たにしました。

終了後は、勇壮な分列行進と地域の安全を祈願して、地域の方が見守る中、上野沼(岩瀬地区)、精進沼(大和地区)、長者池(真壁地区)の市内3か所で一斉放水が行われました。



桜川市消防団・消防署など約550人が参加して行われた出初式の模様



上野沼(岩瀬地区)での一斉放水

## 消防団出初式

## 新春の風物詩

## はたちの集い

## 大人としての自覚・責任を胸に



市内の新成人460人がシトラスで一堂に会し、「はたちの集い」が行われました。



中田市長に謝辞を述べる新成人代表の清水加菜子さん

1月13日(日)、大和ふれあいセンター「シトラス」において「平成25年はたちの集い式典」が行われました。今年成人を迎えたのは、平成4年4月2日〜平成5年4月1日生まれの564人。

式典当日は、男女460人の新成人が華やかな振り袖や凛々しいスーツ姿で出席し、会場付近は、記念写真や談笑する新成人たちであふれました。

来賓の方々からのお祝いの言葉の後、新成人の勝田彩花さん(大和地区)、丸谷一輝さん(岩瀬地区)、井坂友美さん(真壁地区)から、それぞれに成人としての自覚や誓い、両親や恩師に対する感謝の気持ちを会場の出席者を前に力強く発表しました。

最後に新成人を代表して謝辞を述べた清水加菜子さん(真壁地区)からは「今までお世話になってきた家族や仲間との『絆』を大切に、感謝の心をもって社会に貢献していきたいような人になりたい」と締めくくりました。